



## ■ 能登高校魅力化プロジェクト10周年！

能登高校魅力化プロジェクトは、2026年7月で10周年を迎えます。2016年の発足から、地域や高校と連携しながら、能登高生の学びと成長を支える取り組みとして歩みを重ねてきました。能登町公営塾「まちなか鳳雛塾」は、2016年7月に旧能登町役場の一室でスタートしました。これまでの総利用者数は250人(2026年6月現在・小中学生含む)にのぼり、能登高生の学びを支える場として親しまれてきました。

塾内では、日々の学習支援だけでなく、探究活動や地域と関わる学びを大切にしてきました。また、学校でも家庭でもない「第三の居場所」としても利用できるよう、生徒たちが安心して集い、挑戦できる環境づくりを心がけています。

能登高校では、「総合的な探究の時間」の授業サポートをはじめ、教員との定期的なミーティング、補習や学習合宿での指導支援、地域学「鳳雛ゼミ」の企画・運営など、積極的に活動を行っています。近年では、「能登高留学」として全国から生徒を受け入れ、地域内外の高校生がともに学び合う場にもなっています。現在は4名の留学生在が日々能登での学びを深めています。

今後も地域に根ざしたプロジェクトとして、能登高生たちの成長と挑戦を支えていきます。これからもぜひ、応援のほどよろしくお願いいたします！



まちなか鳳雛塾ラーニングcommons  
塾生が過ごしやすい空間づくりを心がけています



旧宇出津公民館時代のまちなか鳳雛塾

## ■ 今年度のProject COLORSが始動しました

昨年からはじめた、高校生たちの興味の発見を形にしていく探究活動「Project COLORS」。これまで、メイク講座やアクアリウム設置、塾生対抗球技大会など、思い思いの「やりたいこと」を形にしてきました。今年度も活動をスタートします！

今年度の第一回目は、ボードゲームの「ito」を使ったアイスブレイク。ゲームを通じて自然な会話が生まれ、お互いの価値観を知ることができました。

次回は、スタッフ手作りのオリジナルボードゲームが登場予定です。様々な趣味・仕事のテーマを用意しているので、それぞれのやりたいことを見つけるきっかけになれば、と考えています。続報をお楽しみに！



## ■ 探究実践者と語る会を開催しました

6月10日（水）、能登高校にて「総合的な探究の時間（総探）」の一環として、「地域の探究実践者と語る会」が開催されました！

当日は、スポーツ心理を探究するツエーゲン金沢クラブキャプテンの廣井友信さんや、移動を通じて日本の活性化を探究する日本航空（JAL）の上入佐慶太さんをはじめ、計16名もの多様な探究パートナーをお迎えしました。森づくり、防災、教育、集落支援、花の移動販売など、パートナーが探究する分野は多岐にわたります。

「地域の探究実践者と語る会」は、地域の大人たちが日頃の活動の中で抱く探究テーマや問い、そしてそれに向けてどのような行動を取っているかを生徒たちと共有する場です。生徒たちが自身の問いや探究したいテーマを発見し、実際にアクションを起こす際のヒントにしてほしいという思いから2022年に始まり、今年で4年目開催を迎えました。

当日は1、2年生の約100名が各ブースを巡り、探究パートナーの方々と対話しました。生徒たちからは「大人たちが今まさに探究していることや、壁にぶつかった経験を聞いて、自分のやりたい探究がより明確になりました。挑戦したい気持ちでいっぱいです！」といった声が届いており、今回の企画が、生徒たちにとって非常に有益な時間になりました！



## ■ 最近のまちなか鳳雛塾



早いもので、2026年も下半期を迎えました。日に日に暑さが増す中でも、まちなか鳳雛塾では、塾生たちがそれぞれの目標に向かって日々学習に励んでいます。

3年生は受験モードへの切り替えが進み、完全私語厳禁のレベルアップルームを活用しながら、集中して勉強に取り組む姿が増えてきました。学習目標を机上の仕切り板に貼っている塾生もあり、進路実現に向けてますますやる気に満ちている様子です。2年生は修学旅行を満喫してきたようで、ぜひお土産話を聞かせに気軽に顔を出してほしいと思っています。そして1年生は最近入塾生が増え、自主的に学習を進める姿勢も多く見られます。分からないことは遠慮せず、スタッフにもどんどん質問してください。

暑さに負けず、一人ひとりが実りある夏、そして充実した下半期を過ごせるよう、私たちも全力でサポートしてまいります。

## RECOMMEND

### まちなか鳳雛塾STAFF

### わたしのすきなもの

VOL.2 出村 公美



### 『今夜はブギー・バック』で観る TOKYO CULTURE STORY

ファッションブランド「BEAMS」40周年を記念して制作された映像です。もう10年近く前に公開されたものですが、時折思い出してはつつい見入ってしまいます。

東京カルチャーを象徴するファッション・音楽の歩みを年表形式で振り返りながら、小沢健二とスチャダラパーの名曲「今夜はブギー・バック」を歌い繋いでいくという本作。私のおすすめは、4分21秒あたりから始まるYONCE (suchmos) のパートです。suchmosがこれのフル音源を出してくれることをいまだに願っています。それはさておき、皆さんもぜひ試聴してみてください！